

名立工業城

股名立工業城

4月号より紹介しております股名立工業城周辺状況ですが、着々と工事が進んでおります。しかしながら自然と人工建造物の共存にまだかなり違和感があります。

**漁梁園名立工業城**

皆様のおかげで、工業城内従業員も2500名を超える人数になりました。ここまでの大所帯になりますと、さらにもう一段階食堂施設を増強することが必要になり、そこで第3敷地にありますG宿舎とF宿舎の1階を改造して、第二食堂を建設することにいたしました。定員は500名ほどで、7月1日より運営を開始しております。メニューは、もちろん従来の大食堂と同じです。DVDも設置しており、工場が休みの時には長時間視聴している工員も少なくないようです。



厨房も新たに設置しており、従来同様温かい料理を提供できる体制です。ご利用いただいている工員様からも、以前より食堂へ行く時間が短縮となったと上々の評判を頂いております。



ちょっと気になる事

ブラックメール?!

2007年5月某日、某加工貿易工場へ脅迫文が届きました。

『貴社〇×社中国業務に関して、問題がある事を税務局及び担当税関に通報します。通報して欲しくない場合には、1週間以内に指定口座に10万円振り込みなさい』という内容で、その脅迫状はパソコンで作って郵送されたものでした。どこの会社も基本的に100%問題ないというのはありえません、どこの会社でも、叩けば多少なりとも埃が出るのを見越した新手の犯罪といえるでしょう。因みにその会社では、脅迫状を受けたことにより、問題点を総点検し、修正するいい機会と捉え改善を推し進めました。結局その後も、特に連絡はないそうです。まるで、日本のオレオレ詐欺を彷彿させるような事件ですが、加工貿易を運営されている皆様、同様なメールを受け取りましても、動揺せず、冷静に状況をご判断し、対応をご検討ください。特に損耗品の管理が重要なポイントになります。華南式委託加工は中国内工場に加工材料を保税扱いで輸入しております。生産後の損耗品も、正規の税関手続きをせずに、廃材業者等に売却しますと、脱税行為になってしまいます。同様に不良品も、正規には輸出するか不良品処理申請をする必要があります。ここで手続きを誤ってしまうと、税関より多額のペナルティーが請求される可能性が非常に高くなるので注意が必要です。

ちょっと気になる事2

07年7月某日、突然税関より生産合同書(通称:手冊)の登録材料価格の見直し要求がありました。来料加工廠は一部の材料を除き、免税にて材料を輸入できるので、一見何の影響がないように見えますが、実は更なる締め付けの前兆といえることができます。まず、損耗部分は、税金を支払って処理をいたします。材料単価があがるということは、必然的にそれにかかる税金も高くなります。損耗率が大きい製品を生産している企業には、じわじわとボディーブローのように、経費負担が増えていくこととなります。その他に考えられる大きな影響としまして、

現在使用している材料が、禁止輸入品目の該当となった場合、中国に輸入ライセンスを持つ貿易会社を使って、関税と増値税を支払って、輸入することになります。生産後輸出(転廠)をすれば還付されることにはなりますが、還付率も下がってきており、その分コストに跳ねかかってくることとなります。ほかにも、様々な影響がでてきますが、今後も更に企業体力(資金)が求められることは間違いのないことでしょう。

清溪镇紹介

4月号で紹介した台湾人向け住宅地内に、おしゃれなイタリアンレストランができました。名前は、【哪裡小意大利】で、場所は御鹿華庭台湾風情街内、晨光学校の対面になります。ピザ、パスタ、スープ、サラダ、デザート、スナックやコーヒーが、ヨーロッパテイストの内装の中で落ち着いて楽しむことができます。値段も、大体20元台からと比較的安い価格設定もこのお店の魅力のひとつ。ピザ等のデリバリーも可能です。



編集部より

広東省も7月に入り夏本番、東莞市でも連日真夏日で寝苦しい夜が続いております。こうなると、エアコンなしで寝るのは至難の業。エアコンの家庭普及率も爆発的に増えており、電気量逼迫の大きな原因となっております。しかし中国では、低価格の非インバータ式エアコンが圧倒的に市場を占めておりその数倍するインバータ式エアコンの普及はまだまだの状態です。インバータエアコンが普及すれば、大幅な電気量削減となるのですが、その日ははたしていつやってくるのでしょうか?!

*** 名立編集部 ***
mail: minli@96326.com
TEL:0769-733-8958
FAX:0769-733-8957 (小倉、李)